

市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われているのか、市の財政状況がどのような状況にあるのかをお知らせするため、財政事情を公表します。

©問い合わせ 財政課 財政係 TEL37-0101

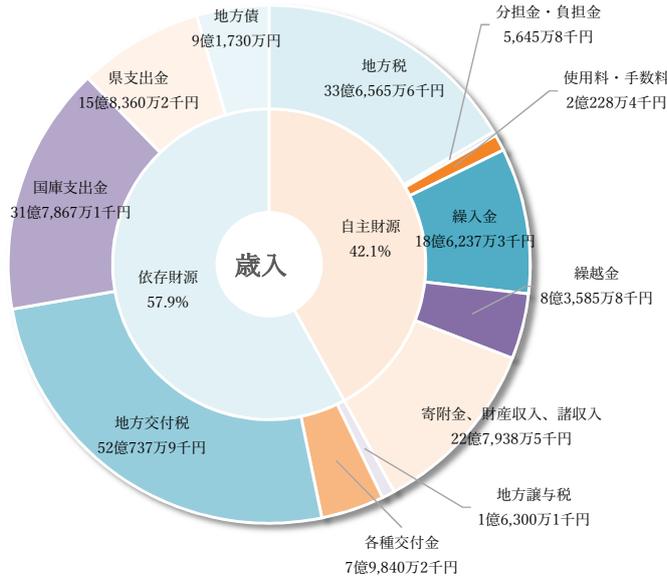
## 令和4年度 一般会計 予算の状況（最終）

一般会計歳入：204億5,036万9千円 対前年度比：3億8,466万4千円増加

### 【歳入】 国・県支出金など依存財源が6割

令和4年度の最終予算は、前年度と比較して増加しました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付により国庫補助金が増加したものの、ふるさと納税寄附金の増加により、依存財源比率は57.9%（前年度比△3ポイント）となりました。

今後も、地方交付税の大幅な伸び等は期待できず、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少も見込まれ、厳しい財政状況が予想されます。自主財源の確保と、歳入に見合った歳出規模を基本とすることが重要になります。

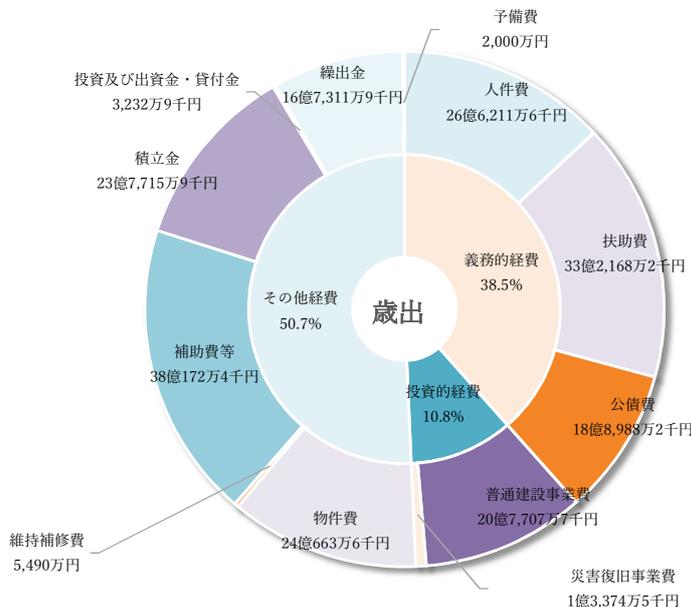


#### 【用語解説】

- 自主財源・・・市が自主的に調達できる収入
- 依存財源・・・国、県から交付される財源や地方債のこと
- 地方交付税・・・全国すべての市町村が等しく行政サービスを提供できるように国から交付されるもの
- 地方債・・・市が財政上必要とする資金を外部から借入れるもの
- 国庫・県支出金・・・特定の事業に対する国・県からの補助金など
- 繰入金・・・これまで積み立てた基金などから繰り入れる財源

### 【歳出】 普通建設事業、積立金が増加

「投資的経費」が対前年度比1.7%の減少、「積立金」が対前年度比17.0%増加し、全体としては1.9%の増加となりました。公営住宅建替事業の工事の本格化などにより、普通建設事業費が前年度比で72.2%増加しました。また、令和3年8月豪雨災害に関する経費の減により、災害復旧事業費が前年度比72.2%の減少となりました。積立金の増加は、ふるさと納税寄附金の増加に伴いふるさと寄附金基金への積み立てが増加したものです。今後は道路橋梁や各施設の老朽化対策などにかかる費用の増加が見込まれます。



#### 【用語解説】

- 義務的経費・・・支出が義務づけられ毎年支出しなくてはならない経費
- 投資的経費・・・普通建設事業費や災害復旧事業費など社会資本の整備にかかる経費
- 扶助費・・・社会保障制度の一環として生活困窮者や身体障がい者などにその生活を維持するために支出される経費
- 補助費等・・・市から他の地方公共団体などに、行政上の目的で交付する経費
- 普通建設事業費・・・道路、橋梁、学校など公共施設の建設事業にかかる経費

特別会計等の状況

区 分	令和4年度予算額	令和4年度予算額		
		下水道事業会計	収入	支出
国民健康保険事業特別会計	39億3,173万6千円	収益的収支	10億1,254万9千円	9億2,449万5千円
国民健康保険診療所特別会計	1億128万9千円	資本的収支	16億1,786万3千円	19億1,533万6千円
後期高齢者医療特別会計	5億624万5千円			
簡易水道特別会計	985万6千円			

令和4年度 一般会計の主な事業

<p>【ハード事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神崎市体育施設改修事業 8,121万9千円</li> <li>・ 公営住宅建替事業 8億6,398万5千円</li> <li>・ 中山間地防災備蓄倉庫整備事業 8,683万2千円</li> <li>・ 小・中学校教育ICT振興事業 2億2,887万円</li> </ul>	<p>【新型コロナウイルス感染症対策関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルスワクチン接種関連事業 2億7,894万8千円</li> <li>・ 保育環境改善等事業 5,500万円</li> <li>・ 子育て世帯生活支援特別給付金事業 5,107万1千円</li> </ul>
<p>【ソフト事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども及び小・中学生、高校生等医療費助成事業 1億3,703万2千円</li> <li>・ ふるさと納税推進事業 11億6,133万1千円</li> <li>・ 出産・子育て応援交付金事業 3,149万3千円</li> </ul>	<p>【原油価格・物価高騰対策関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神崎市活性化推進クーポン券支給事業(第3弾) 1億6,440万5千円</li> <li>・ 神崎市活性化推進クーポン券支給事業(第4弾) 1億6,283万3千円</li> <li>・ 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 1億5,920万2千円</li> </ul>

基金（貯金）の状況

区 分	当 初	補 正	補 正 後
一 般 会 計	72億8,751万3千円	5億8,106万4千円	78億6,857万7千円
特 別 会 計	2億3,545万7千円	-1,354万8千円	2億2,190万9千円
合 計	75億2,297万円	5億6,751万6千円	80億9,048万6千円

市民一人あたりの基金残高・・・約27万円

地方債（借金）の状況

区 分	当 初	補 正	補 正 後
一 般 会 計	185億4,412万1千円	2億4,580万円	187億8,992万1千円
特 別 会 計	3億4,342万4千円	610万円	3億4,952万4千円
合 計	188億8,754万5千円	2億5,190万円	191億3,944万5千円

市民一人あたりの地方債残高・・・約63万円

※地方債残高には、合併特例事業債や過疎対策事業債など地方交付税で後年度財源措置される分が約7割見込まれ、実質的な市の負担は約3割となります。今後も有効かつ効果的な地方債（市債）を活用した財政運営に努めます。

実質的には市民一人あたり 約18万円